

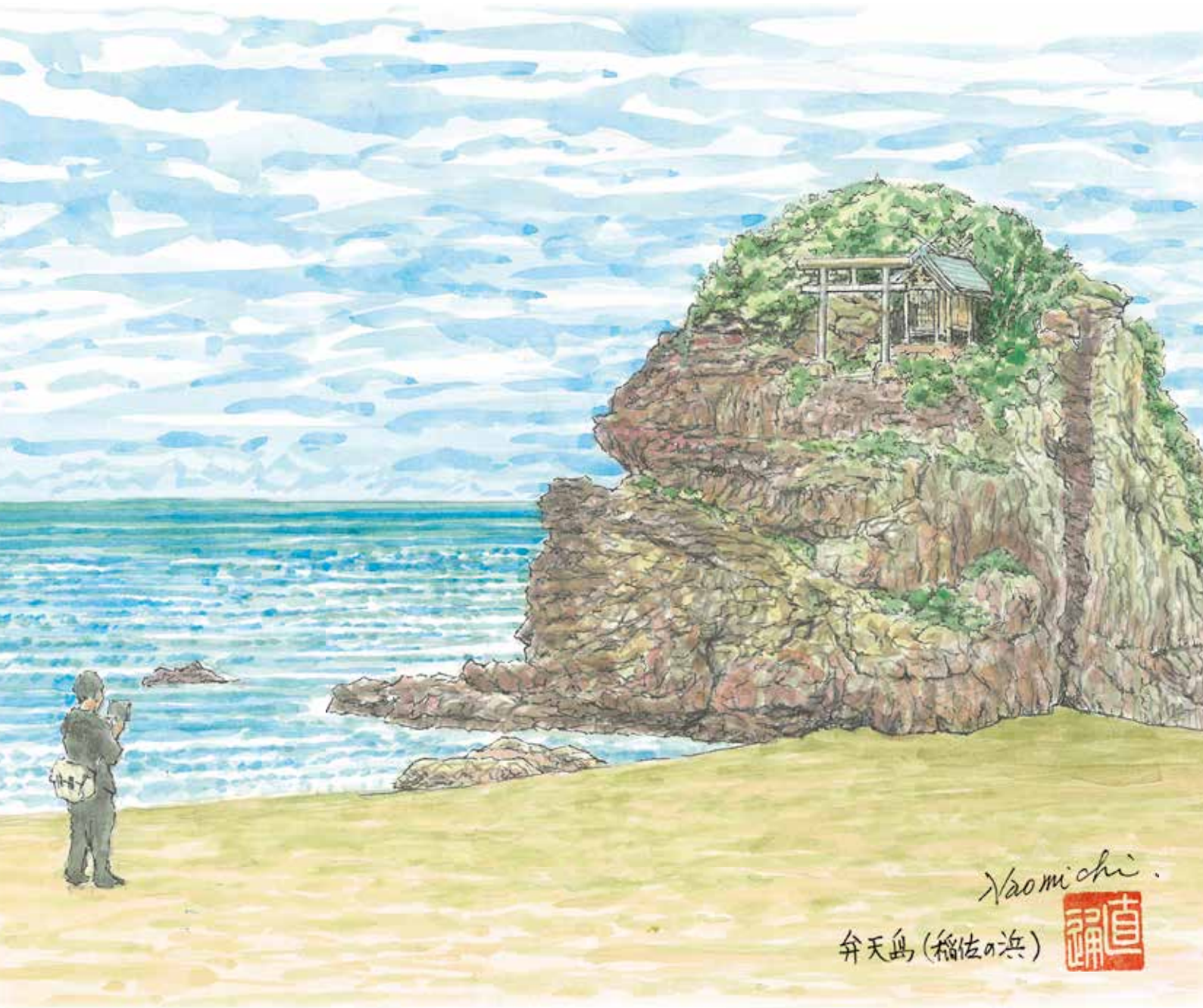
JAしまねびより 7


2018

July Vol.28

特集 JAしまね 第4回通常総代会開催

来月の
外勤日は **8月18日(土)**



Naomichi
弁天島(稲佐の浜) 

通常総代会特集



議長団（石原総代（左）、村上総代）



当日は最終集計で、総代定数1,000人（欠員8人）に対し、959人（本人出席547人、委任状8人、書面出席404人）の出席。議長団に、石原吉徳氏（雲南地区本部）、村上義成氏（隠岐地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

竹下組合長が「政府が示す農協改革集中推進期間の期限が31年5月に控えており、JA組織は重要な局面を迎えている。JAしまねは引き続き、事業改革や運営体制改革を含めて、自己改革を加速化し、将来に渡って農家組合員をはじめ地域住民の皆様から、信頼され、必要とされ、利用していただけるJAとなるよう、誠心誠意努力する」とあいさつ。来賓の溝口善兵衛島根県知事から、「JAしまねは、担い手との度重なる話し合いや、1JAの強みである資材の共同購入による価格の低減に努めるなど、農業生産の拡大と農業所得の増大に向けて、自己改革に積極的に取り組んでいる。県としても農業者の皆様が、今後も安定した営農を続けられるよう、JAしまねと連携していく」との言葉をいただきました。

また、組合員の代表としてJAの発展に貢献され、昨年ご退任された総代の皆様方のなかから、長きにわたりご尽力いただいた方々の功労者表彰を行いました。

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 平成29年度事業報告及び剰余金処分案について
- 第2号議案 平成30年度事業計画の設定について
- 第3号議案 運営体制改革の取り組みについて
- 第4号議案 定款の一部変更について（特別決議案）
- 第5号議案 監事監査規程の全部改正について
- 第6号議案 信用事業規程の一部変更について
- 第7号議案 株式会社JAアグリ島根への出資について
- 第8号議案 一般社団法人JAバンク相談所への加入について
- 第9号議案 「一般社団法人ファームサポート美郷」の設立への参画について
- 第10号議案 子会社の設立及び出資について
- 第11号議案 平成30年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
- 第12号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について
- 第13号議案 平成30年度における理事の報酬額の決定について
- 第14号議案 平成30年度における監事の報酬額の決定について



平成29年度 事業報告

平成29年度は、安倍内閣の進めるアベノミクスにより、雇用・所得環境の緩やかな改善の動きは見えつつあるものの、国内総生産（GDP）の6割を占める個人消費は依然弱く、デフレ脱却は実現しないまま、景気回復には不透明な面が見られました。

また、海外では北朝鮮による核実験やミサイル発射、シリア内戦にかかわる各国の動向、米国防務増額の対外政策による混乱など、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

TPP（環太平洋経済連携協定）については、米国防務増額が離脱を表明したことから、アメリカを除く11カ国で協定を発効させることで大筋合意し、本年3月にTPP11協定が署名されました。また、EPA（日EU経済連携協定）については、農畜産物では約82%の品目で関税を撤廃することを合意内容として、平成29年12月に交渉が妥結しました。今後、米国の二国間交渉の動向も注視し、引き続き日本の「食」と「農」の重要性をアピールする運動を展開していく必要があります。

組織情勢では、農林水産省が平成28年度から平成29年度にかけて総合JAと認定農業者に対してアンケートを行いました。総合JAに対しては自己改革の取り組み状況について、認定農業者等に対してはJAの自己改革の取り組みをどのように評価しているのかについて調査した結果、自己改革の取り組みに対する認識について、JAと認定農業者の間で乖離があることが浮き彫りとなりました。今後は、引き続き自己改革の取り組みを着実に実践することはもちろん、広報活動

にも重点を置き、自己改革の取り組みを広くPRすることで組合員やJAグループ外部からの評価を高めていくことが不可欠となっています。

こうした状況の中、平成29年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」2年目として、営農指導と経営指導を通じて、組合員・生産者の所得向上に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が38,129百万円、購買品供給高が34,014百万円、貯金残高が984,693百万円、貸出金残高が299,671百万円、長期共済保有高が3,541,460百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は14.93%となりました。

収支面については、事業利益が1,016百万円、経常利益は2,189百万円となり、当期剰余金は609百万円となりました。

主な事業活動と成果の詳細については次ページののとおりです。

■貯金残高.....984,693百万円
■貸出金残高.....299,671百万円
■長期共済保有高.....3,541,460百万円

自己資本比率 **14.93%**

■事業利益.....1,016百万円
■経常利益.....2,189百万円
■当期剰余金.....609百万円

PickUP

第3号議案
「運営体制改革の取り組みについて」

目的
業務内容が高度化・専門化している事業環境下、JAの基本方針の審議決定と組合員の意思反映機能を担う非常勤理事と、事業の企画立案と迅速な業務執行機能を担う常勤理事、それぞれの責務の明確化と一層の役割発揮に向け、理事会の運営方法を含めた運営体制の改革に取り組みます。

主な内容

- ① 現行33名の常勤理事体制を、「半減」を目安に見直します。
- ② 現行32名の非常勤理事体制を、必要最小限に見直します。
- ③ 地区本部運営委員会の役割・位置づけを再検討し、構成員や運営方法などを統一的に再構築します。
- ④ 監事定数を必要最小限に見直します。
- ⑤ 運営体制については、これまでの検討経過を踏まえ、今回の改革以降も継続的に検証・検討を行い、将来的な経営管理委員会制度の導入に向けて、今回の改革以降も継続して協議を行います。

本議案の今後のスケジュール

時期	実施事項等	実施内容等
平成30年		
6月	○第4回通常総代会	○運営体制改革への取り組み承認
7月		具体的内容の策定・調整等 ・総代等との会議・意見集約 ・役員による改革案の検討・策定
8月		
9月		
10月(中～下旬)	○地区別総代説明会	○改革案の説明等
11月上旬	○臨時総代会	○運営体制改革の内容決議 (※定款変更を含む)
平成31年		
6月	○第5回通常総代会	○役員改選 ○新体制スタート

組合員の状況

(1) 組合員数

(単位：組合員数)

資格区分		当期首	当期増加	当期減少	当期末	
正組合員	個人	64,865	2,677	2,473	65,069	
	法人	農事組合法人	196	14	1	209
		その他法人	203	17	3	217
	計	65,264	2,708	2,477	65,495	
准組合員	個人	165,484	3,578	4,780	164,282	
	農業協同組合	0	0	0	0	
	農事組合法人	24	0	3	21	
	その他の団体	1,889	17	38	1,868	
	計	167,397	3,595	4,821	166,171	
合計		232,661	6,303	7,298	231,666	

(2) 出資口数

(単位：口)

資格区分		当期首	当期増加	当期減少	当期末	
正組合員	個人	16,875,056	463,101	619,158	16,718,999	
	法人	農事組合法人	25,728	339	532	25,535
		その他法人	33,335	1,378	515	34,198
	計	16,934,119	464,818	620,205	16,778,732	
准組合員	個人	5,638,717	349,921	301,273	5,687,365	
	農業協同組合	0	0	0	0	
	農事組合法人	1,716	11	214	1,513	
	その他の団体	95,199	893	1,498	94,594	
	計	5,735,632	350,825	302,985	5,783,472	
処分未済持分		128,177	119,775	128,177	119,775	
合計		22,797,928	935,418	1,051,367	22,681,979	

適要：(1) 出資一口金額

1,000円

(2) 当期末払込済出資総額 22,681,979,000円

財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	平成28年度	平成29年度	
財務	事業利益	1,050	1,016	
	経常利益	2,014	2,189	
	当期剰余金	1,295	609	
	総資産	1,104,465	1,092,634	
	純資産	77,982	77,986	
信用事業	貯金	994,007	984,693	
	預金	498,551	499,645	
	貸出金	308,072	299,671	
	有価証券	国債	82,394	80,375
		その他	88,894	87,015
	共済事業	長期共済保有高	3,659,406	3,541,460
短期共済新契約掛金		10,267	10,184	
購買事業	購買品供給高	34,092	34,014	
販売事業	販売品販売・取扱高	38,259	38,129	

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

第4事業年度 剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,026,372,121
2. 剰余金処分額	1,346,744,329
(1) 利益準備金	122,000,000
(2) 任意積立金	1,000,000,000
農業振興積立金	100,000,000
農業災害積立金	100,000,000
教育研修充実積立金	100,000,000
信用事業システム開発積立金	200,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
経営安定化積立金	150,000,000
施設等更新積立金	150,000,000
(3) 出資配当金	224,744,329
3. 次期繰越剰余金	679,627,792

(注1) 出資配当金は年1.0%の割合です。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額30,488千円と、地区本部業績還元のために繰越額200,000千円が含まれています。

平成29年度 主な事業活動と成果

販売事業

米穀は平成29年産の島根県における水稲の作況指数が102（前年104）となり、主食用予想収穫量は89,300トンで前年比2,000トンの減となりました。また、28年産米から導入した米の買取制度を29年産米も継続実施し、集荷数量は平成30年3月末現在で36,594トンとなり、出荷契約に対する集荷進度は92.4%、前年対比では97.9%となりました。

園芸

取引先をはじめ関係機関が一体となつて取り組んだ結果、デラウェアは過去最高の単価となりました。また、平成28年度に整備した西条柿の冷蔵施設を拠点に、地区本部の枠を超えてあんぽ柿原料



を受け入れ、JAしまねの統一規格である「島根あんぽ」を中心に生産・販売拡大を行い生産者所得の向上に努めました。

畜産

和牛繁殖雌牛の増頭支援対策や繁殖農家の経営支援を目的とした県央地区畜産総合センター施設の整備による新たな預かり事業の開始、行政の支



援により隠岐地区の家畜市場整備を進めました。また、肉牛の消費宣伝対策として新たなしまね和牛宣伝用ポスターの作成と枝肉の脂肪酸組成・食味分析を実施し、酪農家の経営支援を目的に酪農ヘルパー事業を開始しました。

資材

肥料・農薬・飼料について、水稲肥料・農薬の銘柄統一や値下げを進め、低価

格での資材供給を行い、「農業者の所得増大」の実現に向けた取り組みに努めました。

信用

農業所得増大応援キャンペーンなどにより、農業者の設備投資等を支援するとともに、子育て応援宣言によるローン金利優遇サービスや島根の農畜産物をPRする貯金キャンペーンを実施し、地域のくらしと農業を支援しました。



共済

共済事務センターの設置により事務処理の効率化、迅速化を図り、利用者満足度の維持・向上に努めるとともに、子育てフェスや子ども倶楽部等を通じた次世代対策を展開し、地域への「安心」「満足」の提供と信頼の獲得に取り組みました。

くらしの活動

安心して暮らせる豊かな地域社会の実現を目指し、女性部や青年組織と連携した食と農を基軸とした活動、家の光の購読拡大運動をはじめとした教育文化活動、JA女子大学の開催や児童を対象とした食農教育などを通じた「生きがい、ふれあいの場づくり」、健康に対する意識向上と体力づくりの促進などに積極的に取り組みました。



平成30年度 事業方針

農業振興

◆方針

平成30年度は「農業戦略実践3カ年 営農計画」の最終年度となる節目の年であり、組合員とともに「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現につながる目標の達成に向けて取り組みます。

農政改革により平成30年産米から主食用米の生産調整は、農業再生協議会を中心とした体制で生産数量の目安提示を行うこととなり、JAとして複数年契約等の事前販売契約に基づいた主食用米の品種誘導や1・9mmふるい目への全面切り替え、粒厚肥大技術の普及により、島根米の品質向上・評価向上に努め、販売力の強化による生産者所得の向上を実現します。

生産調整による主食用米以外での水田利活用品目の普及が重要であることから、飼料用米の県内需給調整による安定取引の実現や園芸重点推進5品目への転換、集落放牧による和牛繁殖の拡大により農地の利活用促進をすすめます。

また、地域農業の担い手である認定農業者、集落営農、農業法人の運営、経営安定に向けた記帳代行やデータ提供による利便性向上と経営診断により経営の安定化対策や業務受託対策をすすめ、担い手とJAが一体となって地域農業の振興をすすめます。

◆重点事項

- ①「農業戦略実践3カ年営農計画」の実現
- ②平成30年産米以降の需要に応じた生産に向けた対応
- ③営農指導体制整備
- ④担い手支援
- ⑤農業経営管理支援
- ⑥労災保険加入支援
- ⑦JAしまね農業振興支援事業

全般

◆くらしの活動

くらしの活動では、「豊かでくらしやすい地域社会の実現」を目指して、女性部、青年組織をはじめ、組合員や地域住民の参加によるくらしの活動に取り組みます。取り組みに際しては、組合員アンケートの調査結果等を踏まえ、組合員の多様なニーズを把握するとともに、アクティブ・メンバーシップ（組合員が積極的にJAの事業や活動に参加すること）の確立を目指して、活動への参加機会の提供とともに、活動の質と参加者満足度の向上に努めます。

◆販売事業

しまねブランド商品として市場や卸に頼らない県産農畜産物の販売の強化

に取り組むとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

◆購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃料事業を積極的に取り組み、地域の活性化にも貢献するとともに、より一層のサービスの充実に努めます。

◆信用事業

「利用者満足度向上から事業利用拡大への循環をつくり、島根の豊かな農業と活気ある地域を守るJAバンク」の実現のため、JAバンク自己改革「3本の柱」の完遂を目指します。

低経済成長やマイナナス金利継続に伴いJAを含む地域金融機関の運用環境が厳しさを増すなか、コスト削減を図りながら、農業所得増大と地域活性化

に積極的に取り組みます。

また、JAとして営農経済事業に全力投球できるよう、信用事業運営の効率化をすすめるとともに、地域に貢献する金融サービスを積極的に展開します。

- 「JAバンク自己改革」3本の柱」
- ①農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応
 - ②信用事業運営の効率化
 - ③農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供

◆共済事業

地域実態・ニーズをふまえたJA事業とJAくらしの活動の展開を図るため、共済事業では、組合員・利用者への「安心」「満足」の提供と信頼を獲得するため、事業実施体制のさらなる高度化及び平準化に取り組み、組合員・利用者はもとより、新規利用者拡大に向けた積極的な取り組みと、地域農業・地域社会への貢献を目的とした事業活動を展開します。

また、共済事務センターの機能発揮による事務の更なる統一化及び効率化を進めるとともに、支店担当者のスキルアップにより組合員・利用者サービスの向上に取り組みます。さらに自動車損害調査体制の再構築により組合員・利用者の満足度向上を図ります。

また「JAしまね共済事務センター」設置による事務の合理化及び効率化、自動車事故相談体制の充実強化を図り、「最良品質のサービス」提供を目指します。

功 労 者 表 彰

組合員の代表としてJAの発展に貢献された総代の皆様方のなかから、長きにわたりご尽力いただいた方々に、感謝と功績を讃え功労者表彰を行いました。

当日は各地区本部の代表者へ表彰を行いました。そのほかの、地区本部管内で受賞された皆様については、別ページをご覧ください。



各地区本部を代表して表彰を受けられた方々
(左から竹田重一氏、安部敏樹氏、岡田一夫氏、朝日照男氏、佐々木菊雄氏、向山剛之氏、杉原定氏、石橋敏一氏、日高勝明氏、藤若早男氏、永井安行氏)



功労者を代表して
あいさつする竹田重一氏

- 功労者表彰代表者名簿**
- (地区本部名) (表彰者名)
- | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---------|
| 西 | い | 島 | 石 | 斐 | 出 | 隠 | 隠 | 雲 | や | く | (地区本部名) |
| い | わ | 根 | 見 | | | 岐 | | | す | に | |
| わ | み | お | お | 銀 | 川 | ど | | 南 | ぎ | び | |
| み | 中 | お | 山 | 川 | 雲 | う | 岐 | ぎ | き | き | |
| | 央 | ち | 山 | 川 | 雲 | ん | 南 | | | | (表彰者名) |
| 永 | 藤 | 日 | 石 | 杉 | 竹 | 向 | 佐 | 朝 | 岡 | 安 | |
| 井 | 若 | 高 | 橋 | 原 | 田 | 山 | 々 | 日 | 田 | 部 | |
| 安 | 早 | 勝 | 敏 | 重 | 剛 | 菊 | 照 | 一 | 敏 | 樹 | |
| 行 | 男 | 明 | 一 | 定 | 一 | 之 | 雄 | 男 | 夫 | 樹 | |

第4回総代会 Q&A

質 問

担い手対策として、農業の魅力を発信したり、Uターン・Iターンを促進するなどのPR活動を、JAが率先して行う考えはないか。

回 答

新規就農に対しては、行政等と連携してPRを含めた取り組みを行い、毎年150人程度の就農に繋がっています。また、新規就農者が定着するよう、TACの巡回による経営支援などのサポートを行っています。

質 問

販売戦略室はどのような業務を担っているのか、各地区本部の実態を把握しているのか伺いたい。また「1円でも高く」販売するための具体的な戦略を伺いたい。

回 答

地区本部における営業のサポートを目的として、また、米穀・畜産・園芸の部門を跨いだ総合的な営業力の強化を目的として設置した部署となります。なお、立ち上がりと同時に、各地区本部で行われている販売方法などを調査・整理しています。

質 問

役員定数が削減となった際には、役員報酬や人件費などの費用面にどのような影響があるか伺いたい。

回 答

相応の影響が想定されますが、最終的な定数が決まっていない中ですので具体的な試算はお示しできない状況です。

質 問

●経営管理委員会とはどのようなものなのか、また導入のメリットを伺いたい。
運営体制の改革を進めることによって、本店へ権限が集約し、その結果地区本部の自主性や独自性が阻害されることを危惧する。

●運営体制を改革するのであれば、総代の体制や総代会の在り方についても併せて検討してはどうか。

回 答

県1JAのうち4JAが経営管理委員会を設置している現状のなか、その仕組みがどういったものなのかを今後研究していくものだとご理解ください。現状の理事会制をベースに、当JAの地区本部制を踏まえて、JAしまねとしての運営の在り方を検討していきます。

この他にも幅広くご意見をいただきました。

チャレンジ 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

「農業者の所得増大」・ 「農業生産の拡大」への取組

● 農業振興支援事業

規模拡大や生産基盤の強化をはかる担い手への支援、新規就農者の育成確保、担い手の健康対策、園芸重点推進5品目の産地化、しまね和牛の増頭、島根米のレベルアップと差別化強化として1.9mmふるい目更新といった県域での戦略的な展開、地区本部の取り組みなどの農業生産の維持・拡大対策など、農家所得向上に向けた取り組みを展開しています。また、自然災害復興対策も実施しています。

支援事業を活用された組合員の皆様からは、「行政からの支援が受けられず困っていたが、支援事業により規模拡大が進められた」、「玄米の選別ふるい目を1.9mmふるい目に変えたことで玄米品質が良くなり1等米比率が拡大した」、「繁殖用雌牛価格が高騰しているが、JAからの支援で増頭が進められている」、「災害を受けたパイプハウスの再建ができ、営農活動が続けられる」といった声をいただいています。

● 重点5品目の推進

園芸重点推進5品目についても、島根ブランドの定着化、所得向上に向け販売力を強化するための取り組みを行い、栽培拡大に繋がっています。

作物名	取組内容
キャベツ	加工業務用向け栽培推進、水田の排水対策試験
たまねぎ	集落営農法人への作付推進、オール機械化体系に向け試験実証
ミニトマト	アンジェレの作型拡大試験実証
白ねぎ	点滴灌水システム・新品種・マルチ栽培といった新技術実証
アスパラガス	1年生栽培・高畝疎植栽培といった新技術実証、リース団地の実施

今後も、農業者の所得増大、農業生産の拡大に向け取り組みを強化していきます。



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

隠岐郡隠岐の島町 田中 修司さん



田中修司さん（30歳）は、隠岐郡隠岐の島町都万で、繁殖牛30頭を母親と2人で飼育しています。

幼少期から実家で牛を飼育しており、その影響を受け、畜産業に携わるため島根県立農林大学校へ進学しました。その後、出雲市佐田町の(有)ちくさん緑化、隠岐の島町の(株)だんだん牧場で畜産の仕事をしていましたが、実家の畜産業の経営規模の拡大のため、跡を継ぐ目的で平成28年に新規で就農しました。

平成28年にJAしまね農業振興支援事業「魅力ある産地づくり支援事業：しまね和牛増頭支援メニュー」を活用して繁殖牛4頭を導入。平成29年にも同メニューで繁殖用牛舎等の建設を行うなど、年々経営規模の拡大を図っています。

今後、経営規模をさらに拡大するために、施設の拡充だけでなく大型機械の導入も進め、経営基盤の安定を図り、少なくとも繁殖牛50～60頭規模にすることが目標です。

隠岐の島町は、牛突きなど伝統文化でも牛との関わりが多い土地柄です。そんな昔ながらの自然・文化の残る隠岐の島を、畜産業を通して守っていきたいと思っています。



理事会情報（5月30日開催）

協議事項

- ① 株式会社JAアグリ島根株式譲受に伴う販売事業強化に向けた検討について
- ② 農産物検査業務規程の一部改正について
- ③ 平成28年産島根米「買取制度」総括について
- ④ 平成29年産島根米「買取制度」中間総括について
- ⑤ 葬祭会館利用料の新設および葬祭会館利用管理規程の一部改正について
- ⑥ 監事監査規程の全部改正について
- ⑦ 組合と理事との取引（契約）の承認について
- ⑧ 島根県常例検査書の回答について
- ⑨ 株式会社JAアグリ島根への出資について
- ⑩ 平成29年度決算の承認について
- ⑪ 第4回通常総代会への附議議案について
- ⑫ 財務調整に関する取り扱いについて
- ⑬ 平成30年度に実施する業績還元を取り扱いについて
- ⑭ 購買システム整備の方針整理にかかるコンサル導入の検討結果について
- ⑮ 通常総代会にかかる「総代会参考書類」および「議決権行使書」の取り扱いについて
- ⑯ 常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑰ 職員就業規則および関連規程の一部改正について
- ⑱ 運営体制改革にかかる改革案（中とりまとめ）の主要項目と総代会附議議案について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

雲南

奥出雲町肉用子牛共進会が開催

6月7日に仁多郡奥出雲町の仁多中央家畜集合所で平成30年度第1回奥出雲町肉用子牛共進会が開催され、八川支部の福田一三さん出品牛「あき」が特選賞首席に輝きました。

首席の「あき」は、体上や体高の良さと全体的な締りの良さが評価の決め手となり、2席には横田支部の藤原トミ子さん出品牛「みつはな4」、3席には三沢支部の内田勇さん出品牛「しらゆり」が選ばれました。

首席に輝いた福田さんは「食事や運動を気にかけてが、一番は親の良いところを受け継いだこと。いい結果が残せてよかった」と話し、勝田康則町長は「宮城全共では県代表26頭の内、奥出雲町から11頭が出品された。この経験は次回の鹿児島全共につながるはず。町としても最大限の支援をしていきたい」と同町のさらなる和牛振興への期待を述べました。



特選賞に輝いた「あき」と福田さん（右）、勝田町長

くにびき

家庭婦人バレーボール大会で熱戦！ 津田クラブが2年ぶり5度目の栄冠に輝く

くにびき地区本部は6月3日、松江市総合体育館で「第12回JAしまね くにびきふるさとふれあいカップ家庭婦人バレーボール大会」を開きました。松江家庭婦人バレーボール連盟に所属する14チームが参戦し、津田クラブが優勝に輝きました。

大会は、スポーツを通じた社会貢献活動や管内チームの交流を目的として、毎年開催しています。

開会式では、田中鈴木副本部長が「練習の成果を発揮し、はつらつとしたプレーをしてください」と挨拶。雑賀クラブの川上直美さんが選手宣誓し、試合開始となりました。

試合は、予選から白熱した戦いが展開され、各チームは一進一退の攻防を繰り広げました。決勝では、昨年準優勝の津田クラブと、6年ぶりの優勝を狙う朝日クラブが激突。序盤から津田クラブが、21-14、21-9と圧倒し、2年ぶり5度目の栄冠を手に入れました。



優勝した津田クラブのメンバー

隠岐

隠岐地区本部総代・ 運営委員合同視察研修会の実施

隠岐地区本部は、6月24日に開催された第4回通常総代会に総代・運営委員合同で出席した翌日、引き続いて視察研修会を実施しました。

研修会では、株式会社JAアグリ島根や斐川地区本部のグリーンセンターなどを訪問しました。

株式会社JAアグリ島根では、同社の概要、米・花き・青果物・食肉などの販売実績の説明後、実際に花き市場などを見学しました。また、斐川地区本部管内のグリーンセンターでは、平成7年にオープンした産直市場を見学し、地元で生産された野菜・果物・花き・加工品などの多くの農産品が並べられている、活気のある販売現場を視察することが出来ました。



やすぎ

いもイモ大作戦 始動！

やすぎ地区本部は安来市穂日島町の中海干拓地で毎年行っている、サツマイモの苗植え体験イベント「いもイモ★大作戦」を今年も開催しました。食農教育と地産地消の推進を図ることを目的に平成11年から毎年行われ、リピーターの方も多いイベントです。

6月3日には市内外から40家族、約130人が参加され、JAの営農指導員の指導のもと、一区画10本の「紅はるか」の苗を定植しました。また、サツマイモについてより知ってもらおうと、栽培管理のほか品種の特徴や苗の説明など詳しく掲載したさつまいも栽培マニュアルをJAの担当者が手作りで作成し、配布しました。

参加された親子からは「去年より子供が植えるのが上手になっていました」「暑くて大変だったけど、楽しかったです」との声が聞かれ、今後は収穫まで各自で除草作業などの管理をし、10月に収穫祭や重さを競うコンテストも行う予定です。



苗に優しく土をかける子供

斐川

TACが行う食農実践教室

6月7日、斐川地区本部の担い手担当職員（通称：TAC）2名が、食農教育の一環として町内の出西保育園とあい川保育園を訪問し、49名の園児たちと枝豆「ゆかた娘」の種まきを行いました。はじめにTACが枝豆についての説明をした後、等間隔に印のついたロープを目印に指で穴をほり、一粒ずつ丁寧に種をまき、土をかけた後にたっぷり水をかけてあげました。園児たちは「穴の深さはこれくらいいいの?」「いつになったら食べられるの?」と質問しながら興味津々で作業に取り組んでいました。今後は園児たちが管理を行う予定で、毎日の水やりから土よせや草取りなどの作業を、当番を決めて行います。8月には収穫した枝豆を園で調理し、おやつとして味わうのを園児たちは楽しみにしています。



出西保育園の園児たち



あい川保育園の園児たち

隠岐 どうぜん

畜産共進会が開催

6月12日（火）隠岐島農業協同組合協議会が主催する「平成30年隠岐郡畜産共進会」が、知夫村仁夫里浜特設会場にて開催されました。

数日前より地元畜産農家の協力による会場準備を経て当日を迎えました。隠岐島各地区より1区（子牛の部）10頭・2区（若雌の部）15頭の計25頭が出品されました。審査の結果グランドチャンピオン牛には2区（若雌の部）首席のしげしげ号（高井芳江さん出品）が選ばれ、10月20日開催の島根県種畜共進会に出品されることとなります。

また長年にわたり畜産振興に尽力された、知夫村の金築輝雄さん、山本進さんに畜産功労賞、小西梅子さんに全国和牛登録協会登録事業功労者賞（島根県で2名）が授与されました。昼食には地元畜産婦人部の方が豚汁をふるまい、審査競技には沢山の人が積極的に参加するなど活気あふれる畜産共進会となりました。



石見銀山

女子大学で石見銀山見学

JALしまね石見銀山地区本部が運営する女性大学（JA女子大学石見銀山キャンパス）の8期生は、6月6日に大田市大森町の町並みを散策、石見銀山について学びました。

JALしまね石見銀山女性部員でもある稗田奈穂美さんをガイドに、大森町の町並みを歩きました。大森町は、江戸時代の武家屋敷や代官所跡、石見銀山で栄えた豪商・熊谷家住宅など、随所に並ぶ歴史的な建造物や文化財が当時の面影を残しており、どこか懐かしい雰囲気になっています。

中国地方は5日より梅雨入りし、当日もあいにくの雨模様でしたが、受講生はガイドの話に熱心に耳を傾けながら、石見銀山の歴史について学びました。



ガイドから説明を受ける受講生

出雲

JAしまね子会社起工式 大型水耕栽培施設を建設

JALいずもアグリ開発(株)は6月20日、出雲市神西沖町で大型水耕栽培施設の起工式を行いました。光、温度、湿度、二酸化炭素、培養液などを調節できる高度環境制御栽培施設を建設し、天候の影響が少ない環境で、リーフレタスを周年栽培します。

総事業費は約7億400万円で、国の産地パワーアップ事業から1/2の助成を受けました。年間販売高は1億4,000万円を計画しています。JALしまね出雲地区本部の石川寿樹本部長は「子会社であるアグリ開発を主体とした大事業。自己改革の柱である農業生産拡大のためには、新しい農業にも取り組む必要がある」と話しました。

起工式には県、市、全農、施工業者、JA役職員ら約30人が出席。同地区本部の副本部長も務めるアグリ開発の吉田博幸代表取締役は「出雲の将来のために、誰かが先駆けてやらなければならない事業。次世代を担う若手や地元企業などに波及させたい」とあいさつしました。



あいさつをする吉田代表取締役

西いわみ

第56回島根米品評会農林水産大臣賞受賞 農事組合法人豊郷

第57回農林水産祭参加の島根県農業振興協会主催第56回島根米品評会で、益田市横田町の農事組合法人「豊郷（とよさと）」（代表理事組合長北條義洋）が出品したうるち玄米品種「きぬむすめ」が、島根米総合の部において農林水産大臣賞を受賞しました。

「きぬむすめ」は、平成29年5月に、約38ヘクタールの管理水田のうち50アールを乾田直播により播種し、10月上旬に収穫したもので、出荷先の米検査場で粒張りや色つやが極めて優れている事に注目したJA検査員が出品を勧めました。

同法人北條代表によると、乾田直播は平成28年の先進地視察がきっかけで、手がけていた大豆栽培の作業や機械が乾田直播に応用できると考えたということです。

平成30年6月8日に島根県庁で伝達式があり、北條代表に表彰状が贈られました。

北條代表は「今回の受賞を励みにして研究を重ね、面積を拡大して得られたデータを今後の取り組みに活かしていきたい」と抱負を述べました。



島根おおち

(株)スパーク山陰フェアー [2018初夏]

広島県の地域密着型スーパー(株)スパークにおいて、島根県の青果物と特産品を揃えた山陰フェアーが開催されました。当フェアーは6月7日(木)～6月10日(日)の4日間、(株)スパーク15店舗で開催され、島根おおち地区本部からも職員が店頭立ち、地元産サニーレタス等の野菜を並べ、PRや販売を行い店頭は賑わいました。

島根おおち地区本部と(株)スパークは、島根おおち野菜ブランド「愛菜の郷」の出荷をはじめ、毎年11月から12月には管内の加工場で製造している杵つき餅の職員による実演販売、また出荷している農畜産物への理解と関心を高めたいと管内地産地の視察を実施するなど、30年以上の交流を続けています。

島根おおち地区本部では、県内外の多くの方に管内の農畜産物を知り、食べていただけるよう、積極的な宣伝活動を行ってまいります。



本店

関西地区でトップセールス！

6月9日に、出荷最盛期を迎えた「デラウェア」や「アムスメロン」などを売り込むトップセールスを、取引量が多い関西地区にて島根県と協力して行いました。当日は竹下組合長が藤原孝行副知事と、大阪市中央卸売市場の大阪中央青果を訪れ、デラウェアのキロ単価1,300円の達成に向け、売り場確保など販売促進を関係者に要請しています。

また、神戸市のショッピングセンターへ特設コーナーを設置し、県産のキャベツやトマト、シイタケなどとともに、島根の果実や野菜の鮮度、味の良さを買い物客にPRしました。特設コーナーでは、出雲農林高校の生徒さん達にもお手伝いいただき試食品を振る舞ったほか、農産加工品が当たる抽選会も行い、会場は大変賑わいました。



(島根県提供)

いわみ中央

収穫を楽しみに！ さつまいも苗植え体験

JAしまねいわみ中央地区本部は、6月17日に浜田市上府町であぐりkids倶楽部の農業体験を行い親子16人が参加しました。

今回は、さつまいも苗(品種:紅あずま)200本を植えました。あぐりkids倶楽部は、1歳から小学校6年生までの子供を対象に、親子で農業体験をとおして「農」を知ってもらうことを目的に立ちあげ、7年が経過した現在は67家族が加入しています。

この日も、JAの職員から植え方の話を聞き、畑には畝がたてられマルチを張ったところに、穴をあけて1本1本親子で楽しみながら植えていきました。最後に水やりをして終了です。参加者は「秋には大きな芋ができるといいなあ!収穫が楽しみ」と体験の感想を話していました。植えた芋は10月に収穫予定です。



タテのカギ

- ①水着の痕がついたり皮がめくれたり
- ③学校の教室に並べます
- ⑥酒などを量る四角い容器
- ⑦ミノ、ハツ、センマイといえば
- ⑧全生徒中の男子生徒の——を計算で求めた
- ⑩お盆休みに帰る人もいます
- ⑭プールで習うことの一つ
- ⑯ビーチ——を広げて日陰をつくった
- ⑰一般的に縄より太め
- ⑱バットを持って1人でもできる練習
- ⑳釣りに使う透明な糸

ヨコのカギ

- ①夏らしい黄色い花
- ②爪を削って整えるときに使います
- ③アサガオやヘチマが伸ばす物
- ④天気予報では雲のマークで表されることが多い天候
- ⑤コンパスだときれいに描けませす
- ⑦サッカーの主審が吹きます
- ⑨舌で感じます
- ⑪ウミウシも実はこの仲間
- ⑫プラスの反対
- ⑬U A Eとも呼ばれる——首長国連邦
- ⑮卵を英語でいうと
- ⑯定期券を入れた——ケース
- ⑰あの2人はどうも——が合わないようだなあ

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6	8			16	19
2				13		
		9	10		17	
	7			14		
3			11			20
4				15	18	
5			12			

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒693-8585 出雲市今市町106-1
JAしまね 出雲地区本部 情報システム課 「クイズ」係
平成30年8月5日（日）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「サヤインゲン」

サ	ヤ	ア	ジ	サ	イ
カ	ラ	オ	ケ	ハ	ン
ズ		イ	チ	イ	ン
キ	ノ	コ	デ	ジ	マ
	ミ	ミ	セ	ン	ド
ゲ	カ	コ	イ	シ	カ
カ	ミ	ナ	リ		ヤ

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

夏に向けてのからだ準備

今年も猛暑が予想され、体調管理に不安をお持ちではありませんか？今年こそスムーズに乗り越える為、早くから準備したいものです。

夏の暑さに負けない元気なからだを作るには、「バランスの良い食事」「適度な運動」「十分な睡眠」が大事とよく耳にします。簡単なポイントをあげますので、参考にしてみてください。

夏は、冷房にあたりたり、冷たい物の摂り過ぎで、案外からだ冷えてしまっている事が多いです。からだの冷えは、自律神経の乱れや、免疫力の低下に繋がるので、夏であっても温める事が大切です。食事のはじめに野菜たっぷりのスープや味噌汁をからだに入れたり、温かいお茶を飲んだりするだけでもずいぶん違います。食事も大切で、食べて消化する行為はエネルギーを作り出し、からだを温めます。特に体温の低い人は朝食を抜かないこと！3食の中で朝食は最も大きな熱を生み出します。体温を上げ代謝を良くする事で疲れにくく、からだをつくりましょう。もし、夏に食欲不振を感じたら、胃腸の冷えが原因かもしれません。「温かい物」を摂るように心がけ、胃腸に負担をかけないようにしましょう。

食事の次は運動ですが、今まで運動習慣がないと「外は暑いし運動で汗を流すのは嫌だ」と躊躇する人も多いと思います。激しい運動ではなく、朝起きがけのウォーキングアップを行うことで、気持ち良く1日をスタートさせて、疲れにくく、からだにする効果があります。

目覚めに寝たまの状態で、1.両手を胸の前まで上げ、グーとパーを繰り返す要領で手の平を開いたり閉じたりする。2.次に頭の上まで両手をあげ、両手足をゆっくり伸ばす。最初は軽く、徐々に手足に力をいれる。3.両手を両脇にもどします。踵を突き出す動きと、つま先を伸ばす動きを交互に数回繰り返す。4.膝を両手で胸の前で抱えるように引き寄せゴロゴロとする。このようにしてゆっくりエンジンをかけ、からだを温めながら目覚めさせてはいかがでしょうか。少しづつ取り入れてからだを動かすきっかけになればと思います。

そして睡眠。この季節にかかわらず、なかなか寝付けないといった方は多いと思います。入浴や温かい飲み物でからだを温めたり、アロマを焚いたり、照明を好みに変えたり、本や音楽で心を落ち着かせたりと、安眠方法については三者三様ですが、共通する点はリラクゼーションできる状況を作ることです。また、日中に明るい光をたくさん浴びることをお勧めします。明るい光は、睡眠を促進するホルモン（メラトニン）が作られ、より良い睡眠に近づくことができます。明るい光なら自然光だけでなく、どんなものでも影響があり、室内の照明も含まれます。

何かヒントになりましたでしょうか？さあ、暑い夏に向かっ

出雲地区本部ブロック別総代説明会の開催について



JAしまね第4回通常総代会の開催に先立ち、出雲地区本部では6月11日から、5ブロック5会場で地区本部総代説明会を開催いたしました。

石川本部長より「平成29年度は全ての地区本部で黒字を計上し、出雲地区本部においても大変良い決算で終わることができました。これもひとえに皆様のご利用の賜物と、深く感謝申し上げます」とあいさついたしました。竹下組合長ほか本店役職員も出席し、平成29年度決算報告、平成30年度事業計画等について説明、質疑応答が行われました。

平成29年度JAしまね出雲地区本部の事業実績、平成30年度JAしまね出雲地区本部事業方針は以下の通りです。

平成29年度 JAしまね出雲地区本部事業実績

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
事業総利益	8,278,176	その他事業総利益	5,001
信用事業総利益	2,862,800	指導事業収支差額	-36,027
共済事業総利益	1,701,630	事業管理費	7,812,133
購買事業総利益	2,708,293	事業利益	466,042
販売事業総利益	341,791	事業外収益	460,557
農業倉庫事業総利益	8,634	事業外費用	56,446
加工事業総利益	19,989	経常利益	870,153
利用事業総利益	250,248	特別利益	169,741
葬祭事業総利益	403,217	特別損失	166,852
宅地等供給事業総利益	12,596	税引前当期利益	873,042

※本店配賦額を含む。

平成30年度 出雲地区本部事業方針

1. 営農指導・販売事業

- (1)多様な担い手の育成、支援による農業振興
- (2)地域の農畜産物振興と販売促進による農業所得の向上
- (3)「売れるものづくり」の実践と出雲ブランドの確立
- (4)指導、支援体制の確立
- (5)集荷体制の見直し
- (6)高度環境制御栽培施設整備(水耕栽培)
- (7)機能性農産物推進プロジェクト

2. 生産購買事業

- (1)生産資材等の安価・安定供給

3. 高齢者福祉・生活指導、組織広報活動

- (1)組合員組織活動の支援および高齢者福祉活動の強化
- (2)「JAくらしの活動」の推進、支援および組合員の健康管理活動の推進
- (3)教育文化活動および情報提供活動の充実

4. 生活購買事業

- 店舗事業(ラビタ)
 - (1)組合員の暮らしの中心となるような、機能的で魅力あふれる店舗展開
 - (2)食の「安全・安心・新鮮」を第一とした、地場商品の販売強化
 - (3)人材マネジメントの強化による経営基盤拡充とサービス向上
- 葬祭事業
 - (1)会館施設の効率運営と職員の業務スキル、認知度のさらなる向上

○旅行事業

- (1)利用者ニーズに適した旅行企画と積極的な提案活動の強化

○LPガス事業

- (1)LPガスのレンタル機器の普及と利用者対応の強化

○石油事業

- (1)組合員・利用者目線の店舗づくりと安全で快適なカーライフのサポート

○自動車事業

- (1)自動車販売促進と新規車検獲得のための営業体制強化

5. 信用事業

- (1)農業メインバンク機能の強化
- (2)生活メインバンク機能の強化
- (3)利用者保護
- (4)事業基盤の整備

6. 共済事業

- (1)専門的普及推進体制の確立と普及基盤(次世代対策)の強化
- (2)新たな自動車損害調査体制による活動展開

7. 経営・財務・労務管理

- (1)組織基盤拡充とJA利用、参画の促進
- (2)経営リスク管理の取り組みによる組合員・利用者からの信頼性確保
- (3)組合員・利用者の期待に応えるJAであり続けるための経営体制の構築

退任総代功労者表彰

6月24日、JAしまね第4回通常総代会の開催に合わせ、退任総代の功労者表彰を行い、竹下組合長より表彰状と記念品が授与されました。

出雲地区本部における退任総代功労者 (敬称略 順不同)

佐野 充弘	横木 芳則	日下 明	松本 誠一
吉田 晴行	金山みゆき	三島 敏次	長廻 昭好
伊藤 俊男	平井 悦夫	伊藤 幸子	福田 俊次
田中 康義	梶谷 芳信	竹田 重一	渡部 猛
曾田 勝久	吉川 敏夫	妹尾 恭治	小村 美榮
浜田 豊	金築 綾子	蒲生 雄夫	小野徳次郎
布野 年雄	糸賀 一雄	森山 好子	高見 正市
勝部 政雄	玉川 恵一	石飛 正治	山本 明正
秦 久光	本田 秀明	加藤 武行	渡部 圭子
広戸 孝治	渡部 精治	児玉 三男	永島 誠治
藤原 勇二	今岡 学	伊達 幸江	曾田こすみ

出雲地区本部理事会報告

6月21日に開催された出雲地区本部理事会の中で協議された主な議題と内容は次の通りです。

〈協議事項〉

- (1)大口貸出金の承認について
- (2)大口貸出金の条件変更の承認について
- (3)会社の平成30年度事業方針について

〈報告事項〉

- (1)出雲西部集荷所の経過および今後のスケジュールについて
平成30年11月に完成する予定です。
- (2)子会社および関連会社（法人）の決算報告について

- (3)平成29年度員外利用率について

- (4)平成30年5月末事業実績について

- (5)「出雲女性部タオル1人1枚運動」への協賛について

JAしまね出雲女性部により、自宅に眠っている新品タオルを集めて福祉施設に寄贈する「タオルで地域貢献 出雲女性部 1人1枚運動」を展開されます。各支店に専用ボックスを設置しますので、協力をお願いします。

7月



安全・安心届けます
出雲で採れるうまいもん

パプリカ



生産者インタビュー



JAしまね出雲パプリカ部会
副部会長
JAいずもアグリ開発(株)取締役
三島 雄太さん

今月は、大社町でパプリカを栽培する、JAしまね出雲パプリカ部会副部会長のJAいずもアグリ開発(株)三島雄太さんにお話をお伺いしました。

——いつからパプリカを栽培されていますか？

アグリ開発でパプリカを栽培するようになったのは9年前です。当初は約8アールと小規模で栽培していましたが、2年目にハウスを立て、現在の規模(30アール)になりました。私がアグリ開発に入社したのも、パプリカの規模拡大で人員が必要になったのがきっかけです。以来野菜部門を担当しています。

——パプリカの栽培について教えてください。

パプリカは温度管理が重要な作物です。低温だと耐えられませんが、高温だと成長が早くなりすぎ、おいしいパプリカになりません。人間にとって心地の良い、18〜25度くらいが適温で、冬は加温



をしたり、夏は日よけをしたり、風通しをよくしたりして調節しています。また、アグリ開発では養液栽培でパプリカを育てています。土ではなくキシ殻の培地で育てていて、連作障害がないなどのメリットがあります。また、生育管理がしやすく、効率的に作業ができます。

——パプリカを栽培していてよかったと思うことはなんですか？

出雲産のパプリカが店頭に並んでいるのを見ると嬉しいですね。パプリカは大部分が外国産で、国産パプリカはあまり多くありません。その分まだまだ伸びしろがあると考えています。消費者の皆さんに注目してもらえよう、高品質なものを出荷していきたいと思っています。

——最後にパプリカのPRをお願いします。

パプリカは苦味がほとんどなく、甘みが強くて少しの酸味とのバランスが良い、食べやすい野菜です。今年も出荷が始まりましたので、ぜひたくさん食べてくださいー

パプリカの栄養

パプリカは、赤や黄色などのカラフルな彩りをした野菜です。肉厚でやわらかく、甘くみずみずしいのが特徴です。豊富に含まれるビタミンCはコラーゲンの生成に働いて、風邪の予防や美肌効果などが期待できます。また、ビタミンCの吸収を助けるビタミンPも多く含んでいるので、ビタミンCを摂取するには最適な野菜といえます。

パプリカには、抗酸化作用があつてガン予防や老化防止に有効なβ・カロテンも豊富に含まれています。不飽和脂肪酸の酸化を防ぐビタミンEも豊富で、動脈硬化や心筋梗塞などのリスクを抑えるのに効果的です。

また、赤いパプリカの色素成分であるカプサンチンには、β・カロテン以上の高い抗酸化作用があります。カプサンチンを効率よく摂取するには、油で調理することがポイントです。

パプリカの栽培

出雲地区本部管内のパプリカ栽培は、大社・高松・川跡地区を中心に行われています。栽培は、平成元年に一見た目がきれいでハッピーな気分になる野菜を作ろう」というコンセプトのもと試験的にスタートし、平成20年から本格的に始まりました。平成22年に生産組合が立ち上がり、平成24年に部会が設立されました。

J Aしまね出雲パプリカ部会では、現在4人の部会員が計47・5アールで栽培しています。

パプリカは、春作が3〜6月、秋冬作が7〜8月に定植を行い、収穫・出荷は5月下旬から翌年の3月上旬まで続きます。

ケーブルテレビで放送!

7月のテレビ番組「JAいずもびより」では、本誌で取材させていただいた三島雄太さんにご登場いただき、「パプリカ」を特集いたします。放送日は出雲ケービルビジョン (icv) が7月17日(火)と7月24日(火)の午後5時から(再放送・総集編有)、雲州わがとこテレビ(ひらたCATV)が7月21日(土)、22日(日)、23日(月)の番組内で。本誌とも見比べながらお楽しみください。

尚、今回の視聴者プレゼントは「多伎いちじくギフトセット」です!ぜひ最後までご視聴くださいませ!

パプリカのおいしいレシピ

パプリカとツナのハニーマスタードサラダ



<材料>[2人分]

- パプリカ(赤、黄) ……各1/2個
- ツナ缶(油をきる) ……1/2缶
- 玉ねぎ ……1/4個
- 粒マスタード…小さじ2
- はちみつ…大さじ1/2
- レモン汁…大さじ1
- オリーブオイル…大さじ1
- 塩…少々
- パセリのみじん切り…適量

<作り方>

- ①玉ねぎは横半分に切ってから薄切りにし、水にさらしておく。
- ②パプリカはタネとワタの部分を取り、食べやすい大きさに切る。
- ③熱湯でサツと茹でて水気をきっておく。
- ④ボウルにAを入れ混ぜたら玉ねぎ、パプリカ、ツナを加えあえる。
- ⑤パセリ適量を振りかけて完成!

彩りパプリカのチンジャオロース



<材料>[2~3人分]

- パプリカ(赤・黄) 各1個
- ピーマン ……1~2個
- 牛肉(焼き肉用など)100g
- しょう油…小さじ1
- 酒…小さじ1
- 片栗粉…小さじ1
- ごま油…大さじ1と1/2
- 塩コショウ…少々
- オイスターソース…大さじ1
- 酒…大さじ1
- みりん…大さじ1
- しょう油…小さじ1
- 砂糖…小さじ1

<作り方>

- ①牛肉を細切りにしてしょう油、酒で下味をつけ、片栗粉を揉みこんで10分おく。
- ②パプリカとピーマンのタネとワタ部分を取り除き、細切りにする。
- ③フライパンにごま油を熱し、パプリカを中火で炒める。
- ④塩コショウを入れて軽く味を付け、パプリカに艶が出てきたら取り出しておく。
- ⑤④のフライパンに①をほぐさずそのまま入れ平らにしたら中火で焼く。
- ⑥牛肉の下半分が白くなったらいっぺんに返してほぐし、パプリカを戻し炒める。
- ⑦肉に火が通ったら⑧を入れ強火で炒める。
- ⑧全体が絡まったら完成!

ほっとで楽しいニュースが満載！

JAしまね出雲ぶどう部会 「デラウェア」品評会を開催

JAしまね出雲ぶどう部会は6月15日、JAしまね荒木支店会議室でぶどう品評会を開きました。一次選考を通過した29点を県・市・部会員ら12人が審査し、最優秀賞1点と優秀賞6点、特別賞1点を決定。最優秀賞の出雲市長賞には長浜地区の石飛四郎さんが選ばれました。

品評会は島根ぶどうの品質および商品性の高位平準化、生産振興と栽培農家の意欲向上を目的に毎年開催しています。着色や粒張り、粒揃い、糖度などを基準に審査を行いました。審査委員長を務めた島根県農業技術センター果樹技術普及課の安田雄治課長は「今年産は果実肥大が良好で品質はとでも良い。出品されたぶどうも高糖度で素晴らしい出来だった」と講評しました。受賞した8点は、6月16日、17日に島根ワイナリーで開かれた島根ぶどう祭で展示されました。

他の受賞者は次の通りです。
▼島根県農業協同組合長賞 大社地区 中山賢十郎さん ▼JAしまね出雲地区本部長賞 大社地区 小銀克紀さん ▼島根県農業共済組合長賞 大社地区 落合久十さん ▼(株)島根ワイナリー社長賞

長浜地区 安達富治さん ▼島根県果樹研究同志会長賞 河南地区 本田秀明さん ▼JAしまね出雲ぶどう部会長賞 高松地区 加藤功さん ▼JAしまね出雲ぶどう部会長賞 (STEP UP賞) 大社地区 田野直さん



着色、粒張りなどを確認する審査員ら

JAしまね出雲やすらぎ会 第3回総会を開催

JAしまね出雲やすらぎ会は6月28日、出雲市のJAしまね出雲地区本部が運営する生活購買店舗ラピタで、第3回総会を開催しました。会員やJA関係者ら約100人が参加。平成30年度の活動計画として、ミニデイサービスやボランティア活動の充実など、高齢者が地元で安心して健康に暮らせる取り組みを継続していくことを申し合わせました。

平成29年度は、やすらぎ会支部間の連携と情報共有で活動の質を高めるため、5ブロック体制に変更。また、例年女性部と青年連盟が行っている同地区本部常勤役員との意見交換会にも初めて参加し、やすらぎ会活動の積極的なPRを要望しました。

同会の片伊勢妙子会長は「発足から20年以上が経ち会員も高齢化が進んでいるが、助け合いの気持ちがあれば、声をかけるだけでも地域が温かい気持ちになれる」と話しました。

総会後は、遙堀支部の活動報告として、ミニデイサービスで実施しているゲームを紹介したほか、島根県立大学の山下一也副学長が「認知症予防最前線」と題し講演しました。



あいさつをする片伊勢会長



遙堀支部がゲームを紹介

第6回稗原マルシェ開催 地元産PRで生産者意欲向上

軽トラ市で地元の農産物を販売し魅力を伝える「第6回稗原マルシェ」が7月1日、稗原町の稗原交流センターで開かれました。前日の雨が嘘のような晴天で、地区内外から大勢の人が訪れました。

会場では、同地区内の11自治会と、島根大学の学生が軽トラ市を開催。各自治会の軽トラックには旬の野菜に加え、地元産の卵を使ったプリンや伝統料理のさき巻きなど、工夫を凝らした加工品が並びました。

稗原の特産を使った商品開発に取り組み島根大学生は、コンニャク芋と小豆に注目し、コンニャク入りの「おはぎ」や、ぜんざい味のシェイクなど4品を販売。当日参加した学生は「商品化できるような完成度の高いものを目指した。売れ行きも上々で嬉しい」と成果を話しました。

また、JAしまね出雲女性部稗原支部が農家レストランを開き、地元の特産や米のおいしさをPR。大盛況で、時間前に完売しました。

塩野委員長は「どういったものが売れるかを考えることが生産者のやる気につながる。他では買えない物を作ってほしい」と話しました。



天候に恵まれ多くの人々が来場した



賑わう農家レストラン

中部ブロック「こどもクラブ」 田んぼの生き物調査

J Aしまね出雲地区本部中部ブロックは6月10日、食農教育教室「こどもクラブ」で田んぼの生き物調査を行いました。四絡会場42人、塩冶会場43人の児童が参加。裸足で田んぼに入り、土の感触を楽しみながら田んぼに住む生き物を探しました。

塩冶会場では、飯國荘一校長（同地区本部理事）が「稲も少し大きくなりました。いろいろな生き物があるのでしっかり観察してください」とあいさつ。J A中部営農センターの職員からは、季節ごとにどんな生き物がいるか、その生き物がどんな役割を果たしているかを説明しました。その後、児童らは田んぼに入り調査を開始。尻尾がまだ残っているカエルなど、いろいろな生き物を捕まえて観察しました。田んぼは所有者である横山猛さんが管理し、9月には児童らで稲刈りをする予定です。



田んぼに入り生き物を探す児童ら

J Aしまね出雲地区本部 組合員囲碁将棋大会開催

J Aしまね出雲地区本部は6月2日、ラピタ本店3階大ホールで「第4回J Aしまね出雲地区本部組合員囲碁将棋大会」を開催しました。囲碁167人、将棋69人の合わせて236人が参加。地区ごとに組まれたチームでの団体戦のほか、級位、段位で分けられたクラス別での個人戦が行われ、熱戦が繰り広げられました。小中学生も多数参加し、幅広い年代の愛好者が対局を通して交流を図りました。

優勝チーム・優勝者は下記の通りです。

【囲碁】団体戦優勝 神戸川チーム

▶個人戦 六段以上の部 小野裕章さん（神戸川）▶五段の部 玉木洸多さん（塩冶）▶四段の部 佐知正義さん（荒木）▶三段の部 小村忠雄さん（平田中央）▶二段の部 有田和紀さん（西田）▶初段の部 杉原博さん（大津）▶級位者の部（1～5級） 玉木秋帆さん（塩冶）▶級位者の部（6～20級） 長谷川航一さん（塩冶）

【将棋】団体戦優勝 神戸川チーム

▶個人戦 段位者の部 本知里さん（稗原）▶級位者の部 吉井宗昌さん（稗原）▶小中学生の部 遠藤光基さん（神戸川）



約230人が熱戦を繰り広げた

フラワーフェスティバル開催 展示・販売で消費者と交流

J Aしまね出雲花卉部会は6月9日、10日の両日、ラピタで「フラワーフェスティバル（花の販売・展示会）」を開きました。9日には、同部会から同地区本部の石川寿樹本部長と出雲市農林水産部の池田透部長に花束を贈呈しました。

フラワーフェスティバルでは生産者自ら切り花や組み花、アレンジメントを販売し、消費者と交流。出雲産の花を中心に展示会も行われ、54点の花卉が会場を彩りました。

山本征志部会長は「高齢化などにより生産者も減少しているが、このようなイベントを通して生産者の意欲を高めていきたい」と話しました。



花卉部会員から花束を贈られる
石川本部長（左手前）と池田部長（左奥）

つや姫栽培講習会開催 ブランド化へ栽培管理を徹底

J Aしまね出雲地区本部は6月27日、管内5ヶ所の展示圃で「つや姫」の栽培講習会を開きました。講習会は6月7日に続いて2回目。同地区本部総合指導課の職員が、今年の生育状況を伝えるとともに、穂肥の散布時期や出穂後の水管理について説明しました。また、「1.9ミリ幅ふるい目」対策として、厚みのある米を栽培するポイントを説明しました。

指導力向上のため、同地区本部営農センターの若手職員3人も同行。生育調査に協力した全農や肥料メーカーから指導を受けながら、草丈や茎数、葉色などを測定しました。

同地区本部管内の平成30年産の作付面積は、前年比2.4%増の129ヘクタール。生産者数も64人から83人に増えています。平成29年産米の食味ランキング（日本穀物検定協会）で「特A」を獲得した県産「つや姫」のブランド化を進めるため、栽培管理の徹底と技術向上を図ります。



指導を受けながら葉色を測定する若手職員

「デラウェア」最盛 集荷所へ本部長が激励

島根ぶどうの主力品種「デラウェア」が、6月中下旬に出荷ピークを迎えました。今年も粒張りのよい、高品質なぶどうが出荷されています。今年は低温の影響などで早期、超早期加温に遅れがありましたが、6月下旬からは前年を上回る日量出荷量となっています。

ピークを前にした6月7日には、JAしまね出雲地区本部の石川寿樹本部長が各集荷所を訪問。「消費者の皆さんに、1箱でも多くのおいしいぶどうを届けていただきたい」と出荷・検査のために集荷所に集まった生産者を激励しました。

6月下旬から始まった、シャインマスカットなどの大粒系ぶどうの出荷は、11月まで続く見込みです。



生産者を激励する石川本部長

JAしまね出雲メロン部会 アムスメロンの出荷始まる

JAしまねメロン部会が生産するアムスメロンの出荷が6月18日に始まりました。生産者1人が87箱をJA大社西部集荷所に出荷しました。

今年は例年に比べ初出荷は遅くなりましたが、生育は順調。ネットの張りもよく、高品質なメロンが出荷されています。当日出荷されたメロンも、すべてが最も優れた等級の「赤秀」に区分されました。

同部会の三島雄太郎会長（JAいずもアグリ開発株）は「出雲のメロンは地元をはじめ関西でも評価が高い。部会として最大限の数量を出荷したい」と話しました。

7月下旬ごろからはアールスメロンの出荷も始まる予定で、部会として今年度は年間販売高2,000万円を見込んでいます。



出荷されたメロンを確認する三島部会長

園児が「西浜いも」の 苗植えを体験

出雲市内の6保育園・1幼稚園が6月5日～7日、12日の4日間、湖陵町の大山オーナー農園で管内特産のさつまいも「西浜いも」の苗植えを体験しました。農園管理人の鎌田勉さんが、園児に食と農の大切さを学ぶ場を提供しようと毎年実施しているものです。4日間で園児約400人が参加し、約5,000本の「べにはるか」の苗を植えつけました。

5日は四絡幼稚園の園児約70人が参加。鎌田さんから植え方の説明を受けた後、マルチを張った畝に1本1本丁寧に苗を植えつけました。10月下旬ごろに芋掘りを行い、焼き芋をしたり、自分たちで考えて芋を使ったクッキングをしたりする予定にしています。

鎌田さんは「産地である湖陵町で体験してもらいたい」と思い実施しています。子どもたちと一緒に西浜いもが栽培できて嬉しいです」と話しました。



植え方を説明する鎌田さん

国富小学校4年生 大豆の種まき体験

出雲市立国富小学校の4年生30人は6月15日、国富町の森山宏さんの農場で大豆の種まき体験を行いました。国富小学校では、地産地消について学ぶことや農業に触れ合うことを目的に毎年大豆の栽培をしています。

JAしまね出雲地区本部東部営農センターの職員が植え方を説明。児童は3列に並び、丁寧に大豆を植えていきました。今後、水やりなどの管理は森山さんが行い、11月ごろに児童が収穫します。3学期には児童と女性部員とで味噌に加工するほか、豆腐作りも計画しています。味噌は5年生になったときの調理実習で味噌汁にして味わう予定です。



森山さんと大豆を植える児童

J Aしまね出雲女性部高浜支部 ささ巻きづくりで世代間交流

J Aしまね出雲女性部高浜支部は6月9日、J Aしまね高浜支店倉庫でささ巻き作りをしました。季節の伝統行事を継承していこうと約10年前から行われ、今年も女性部員、親子ら20人が参加しました。

棒にさした団子をササで巻く伝統のささ巻きに加え、もち米をササで三角に包む三角ささ巻きにも挑戦。地域の行事などで三角ささ巻きを作ることが多い同女性部柳原支部の飯塚晴子南部地区長を講師に招き、約350本のささ巻きと約150個の三角ささ巻きを作りました。

同女性部高浜支部の錦織文子支部長は「来年は呼びかける範囲を増やしたい。世代間交流ができる場として発展させていきたい」と話しました。



女性部員に教わりながらささ巻きを作る児童

J Aしまね出雲女性部中部地区 リーダー研修で高知へ

J Aしまね出雲女性部中部地区は6月5日、6日の2日間、リーダー研修で高知県を視察しました。他のJ Aの施設などを視察し、新しい発想を取り入れるとともに、部員同士の親睦を深めることを目的に実施。部員20人が参加しました。

はじめに訪ねたのはJ A土佐れいほく。女性部員が運営する食堂や空き店舗を利用したカフェ、れいほく地域の特産である柚子の加工場などを視察しました。トマト加工にも取り組む中部地区の女性部員は、施設の見学を通して今後の活動へのモチベーションを高めました。また、現地の女性部員との交流の場も設け、部員の高齢化や減少といった今後の課題について意見交換もしました。

このほか、家の光で紹介された折り紙アートの名人の作品をみせてもらう機会があったり、同誌に掲載されたアイス屋に実際に行ってみたりと、充実した研修になりました。



女性部員が運営する「牛のうどん屋さん」で昼食

農事組合法人が野菜部を立ち上げ 増収めざし試行錯誤

地域の水田農業の維持・発展のため、平成24年12月に法人化した農事組合法人「船津営農組合」（榎原輝夫代表理事組合長）は昨年3月、「高齢のため畑の耕作ができなくなった」という地域住民の相談を受け、野菜部を立ち上げました。現在その畑を活用して野菜づくりに取り組んでいます。

野菜部は女性3人で構成。J Aしまね出雲地区本部が運営する生活購買店舗「ラピタ」の農産物直売コーナーへの出荷が主な活動内容です。昨年は約10種の野菜を栽培しましたが、効率を考え、今年はホワイトコーンを中心に4種を栽培することにしています。

6月15日には同地区本部中部営農センターの職員を講師に、ホワイトコーンの苗約600本を植えました。

部員の永瀬のり子さんは「品目を絞って計画的に栽培し、増収を目指したい。J Aの指導を受けて経営面でも軌道に乗せたい」と意気込みを話しました。



ホワイトコーンの苗を植える部員ら

休耕田に園児たちがさつまいもの苗植え えがお畑おおつパートⅡ

大津地区で環境を守る活動に取り組む「えがお畑おおつパートⅡ」は6月5日、同地区の大津幼稚園、おおつ保育園の園児たちと、同地区の休耕田約6アールにさつまいもの苗を植えました。合わせて約70人の園児たちが、鐘推園芸の鐘推さんの指導を受けながら丁寧に苗を植えつけました。

休耕田活用で地域の環境を守るとともに、子どもたちに農業に触れてもらおうと実施したものです。おおつ保育園は同じ場所で後日トウモロコシやエダマメも植えました。このほか、なかの保育園の園児たちも別の畑でさつまいもの苗を植えるなど積極的な活動を展開しています。

同会は休耕田等が荒れないよう植物を植え地域の景観を守ろうと、今年活動をスタートしました。賛同者も多く、会員は現在115人。当初の計画より多い70アールにコスモスが植えられたほか、会員らに9,500鉢のコスモス苗を配布しています。



並んでさつまいもの苗を植える園児たち



出雲市古志町
かつべ はつお
勝部 初男さん (71歳)
くみこ
久美子さん (71歳)



古志町にお住まいの勝部さんご夫婦。30アールで水稲栽培を行うほか、10アールの畑で野菜を栽培しています。田んぼはいくつにも分かれていて、一部では今でもパインダーで刈り取り、“はでば干し”をしています。

初男さんは農作業に加え、庭師の仕事もしています。また、「古志そば同好会」の会長も務め、古志の畜産技術センターの祭りや地区の文化祭でそばを打っています。また、JA神戸川支店の農業祭りでも、神門の会と交代で出店していただいています。

野菜は主に久美子さんが栽培しています。ネギ、オクラ、トマトなどの季節の野菜や、ラッキョウ、コンニャクなどの加工品を作り、家で食べたり友達にあげたりしています。久美子さんは「皆さんに配って、喜んでもらえるのが楽しみで作っています」と話します。

旅行が好きで、日本中を回ってきたというお二人。初男さんはJAの旅行相談員も長く務め、支店の企画旅行にも毎回ご夫婦で参加してくださっています。カメラが好きな初男さんは、いつも旅の記録をしっかりとファイナダーに収めています。

健康の秘訣を尋ねると「黒文字を煎じたお茶を10年以上継続して飲んでます」と話す、ますます元気なお二人です。



佐田町の温泉宿泊施設に勤める藤原美貴さん。地元で働きたいという思いから今年4月に転職。高校生のころにアルバイトもしていた今の職場に就職しました。現在フロント業務と事務を担当しています。

須佐神社に隣接する温泉宿には、宿泊に訪れる観光客のほか、宴会、食事、入浴などで地元の人も多く訪れます。美貴さんは「どのお客様にも気持ちよく利用していただけるよう、丁寧な言葉遣いと、笑顔を中心掛けています」と話します。まだ勤めて間がなく、目の前の仕事で精一杯ですが、お見送りのときの満足したお客様の笑顔と「ありがとう」の一言を励みに日々頑張っています。

休みの日は友達と出かけたり、時間があるときは遠出をしたりするのも好きだという美貴さん。先月は広島に宮島観光に出かけました。

今後の目標を尋ねると、「お客様一人ひとりに満足していただけるような接客をしていきたいです」と意欲を話す美貴さんです。

出雲市佐田町

藤原

美貴さん (29歳)



6月講座「演劇ワークショップ」

JALまね出雲地区本部は6月13日、いずもJA女子大学の6月講座「心のぱんつを脱いじゃおう!演劇ワークショップ」を開きました。演劇そのものを練習するのではなく、ゲームを通してありのままの自分を引き出す体験型の講座です。認定NPO法人あしぶえの副理事長を務める有田美由樹先生を講師に、多種多様なゲームに取り組みました。

はじめに、女子大学生それぞれが「今日だけの名前」を自分自身に命名。胸にその名前を貼り付け、講座ではその名前呼び合いました。ゲームはたくさん種類を行うことで人の素の姿を見るもので、演劇の配役決めなどにも使われています。テンポよく自己紹介をする「自己紹介ゲーム」から始まり、観察力、反射神経、

創造力を必要とする6つのゲームに取り組みました。ゲームの最中は笑いが絶えず、失敗も笑い合っ中で各々のいつもと違う一面も発見でき、女子大学生同士の親睦も深まりました。



参加した女子大学生は「とても楽しい時間だった。今後に生かせることもあると思う」「おなかから笑ってすっきりした」と感想を話しました。

わが家の
アイドル

わが家自慢の
アイドルをご紹介します!



やしま ときみつ はるみつ
矢嶋 季光くん(9歳・左) 晴光くん(6歳・右)
えり
江利ちゃん(3歳・中)

出雲市湖陵町

長男の季光くんは小学3年生。友達とゲームで遊ぶほか、レゴブロックなど、モノを組み立てる作業が好きです。真面目できちとした性格で、いつもちゃんと説明書を読んでから作り始めます。得意科目は算数です。次男の晴光くんは、ユーモアがあって人を笑わせるのが大好きな小学1年生。表現力豊かで本の音読がとても上手です。料理も好きで、毎週家族のためにホットケーキを作っています。末っ子の江利ちゃんは可愛いものが大好きな女の子。今年幼稚園に入園し、毎日楽しく通っています。

3人一緒にお散歩に出かける時は、お兄ちゃん2人が交代で江利ちゃんをおんぶして面倒を見てくれます。ケンカもよくするけれど、きょうだい3人とっても仲良しです!

おとうさん、おかあさんからの一言

お兄ちゃんたち、いつも江利ちゃんの面倒を見て、助けてくれてありがとう!3人仲良く元気で大きくなってね。

グループ紹介

「十六島ひまわり会」

出雲市十六島町でサロン活動を行う「十六島ひまわり会」は、高齢化が進む中「地域の皆さんの居場所を作りたい」という思いから、平成20年に発足しました。北浜地区では、7集落すべてでサロンが開かれています。その先駆けとなったのが「十六島ひまわり会」です。メンバーは12人。今年も5人のメンバーの交代があり、新体制で気持ちも新たにスタートしました。

サロンは月2回、第2、4日曜日の午前中に十六島集会所で開催しています。当番2人が地域の高齢者の方を迎え、一緒にお茶を飲んだり、歌を歌ったり、楽しく交流しています。季節の行事に合わせていろいろな企画を考え、「ひな祭り会」「七夕会」「ミニ敬老会」「クリスマス会」などのイベントも開催しています。

また、対外的な活動にも積極的に、

樋野代表の一言

高齢化の進む十六島地区では、どうやって楽しく過ごしていくかがこれから重要になってくると思います。「ここに住んでよかった」と思えるような地域づくりに貢献していくのが目標です。これからの地域の皆さんとの絆を大切に、和気あいあいと楽しく活動を続けていきたいです。

西田支店 井上支店長からのメッセージ

「十六島ひまわり会」の皆さんは、とても積極的に活動をしていらっしゃいます。サロン活動では地域の方々が50名も参加されるイベントもあり、無くてはならない存在になっています。また毎年6月開催の西田・北浜・鰐淵支店合同イベント、カローリング大会にもメンバーでチームを組んで参加され、他地区の方々とも交流を図っておられました。これからも地域活動、JA活動を通して絆が深まることを期待しています。



代表 樋野 美保子 さん

島根県立大学生のフィールド学習を受け入れ、地域の高齢者の方と一緒に学生たちと交流を図ったり、ワークキャンプに訪れた国内外のボランティアを招き国際交流会を開いたりしたこともあります。助け合いの気持ちを大切に、さまざまな活動に取り組み、地域を盛り上げていきます。

読者のページ
おたより広場

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集！！

おたより大募集
皆さまからの「おたより」を募集しております。ハガキに、聞いて欲しいこと、日々思うこと、俳句や川柳、絵手紙や写真などのご投稿お待ちしております。
(匿名希望の方は明記してください)

〒693-8585
出雲市今市町106番地1
JAしまね出雲地区本部内
「広報誌JAしまね」編集係 宛
✉メールでの投稿も大歓迎!
unity@jaizumo.or.jp

部では虫たちとどう付き合っていくかがとても重要なと思います。

●きらりスマイルの獅子舞奉納のお二人には大変感心しました。拍手です。私も経験がありますが、町内に当番が回つてくるととても大変です。
(白枝町K・Tさん)

JA：本当に、拍手です。地域の皆さんにとっても元気が出る出来事だったのでないでしょうか。お二人とも「貴重な経験をさせてもらった感謝」をまず話しておられました。

●いずもJA女子大学の受講生さんが田植えをされたことを本誌で知りました。田植えが初めての方もおられたようで、良い経験をされたと思います。
(武志町U・Mさん)

JA：上から下まで全部おいしいので意識したことがあります。付けた！枝の側から熟するので、付け根の側が甘いのだそうですよ。

●山間部に住む私にとって、ムカデは夏の脅威です。温暖化のせい、年々巨大化しているように感じます。今年はおかきさんのJA通販で、かや、を買いました。おかげで安眠できるこの頃です。
(匿名希望)

JA：隙間のないムカデ用の「かや」はとても安心できますよね。山間

JA：約2時間、みっちり田植えに取り組まれ、お米を作る大変さが伝わってくる講座でした。私も久しぶりに田んぼに入りましたが（撮影のため）、それだけでも良い経験になりました。

俳句の広場

選者
安食 彰彦先生

月間最優秀賞

息災を祈りて茅の輪くぐりけり

稲岡町 小豆澤 功

選者評

老齢になるとその日、その日の無事や無病を祈るものです。茅の輪を8の字にくぐりながら、これからも無事、無病でありますようにと。

月間優秀賞

葉に紛れまだ実の硬き梅匂ふ

本庄町 森脇 英徳

竹の子のように伸びれば文句なし

下古志町 原 寿夫

三十年カーネーションは届きけり

荒茅町 岸 寿美

あなたの俳句・川柳を募集します

◆応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキまたはFAXでご応募ください。
※8月号掲載分の川柳の応募メ切りは7月31日必着です。
※9月号掲載分の俳句の応募メ切りは8月31日必着です。
※お一人様それぞれ3句までご応募いただけます。

◆あて先
〒693-8585 出雲市今市町106-11
JAしまね出雲地区本部「俳句の広場」係
(FAX: 211-6249)

※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利はJAしまね出雲地区本部に帰属するものとします。
※月間最優秀賞にはUFJニコス券3,000円分、月間優秀賞にはUFJニコス券1,000円分を進呈いたします。
※受賞作品については地区名、氏名(または雅号)を掲載します。

JALしまね出雲地区本部で、年金をお受取りいただいている方全員に感謝の気持ちを込めて
オススメの特産品を中心に、ハズレなしで必ずプレゼント!!



年金受給者

大感謝抽選会

開催!!

◆抽選期間 平成30年 7月25日水▶10月16日火

◆抽選場所 JALしまね出雲地区本部 各支店

今年は全員ご参加いただける感謝企画です!

外勤日にお配りした
 抽選券をお持ちの方 **全員に当たります!**



7月外勤日にお配りした抽選券を、JALしまね出雲地区本部の年金を
 お受け取りの支店へお持ちください。その場で抽選していただきます。

【商品のお渡しにつきまして】

- 生鮮品につきましては、引換券をお渡しいたします。お近くのラピタにてお受け取りください。
- 特産品は収穫時期等により、お渡しするまでお時間をいただく場合がございます。その際には、お渡し期間を明記した引換券をお渡しいたします。

JALしまね出雲地区本部にて年金振込口座を
 指定いただいている方が対象となります。



第2回 日が沈む聖地出雲 PHOTO CONTEST コンテスト

日本遺産「日が沈む聖地出雲～神が創り出した地の夕日を巡る～」のストーリーの魅力を言葉や文字の壁を超えて世界へ発信するため、あなたが思う「日が沈む聖地出雲」の写真を広く募集します。

「日が沈む聖地出雲」公式HP <https://izumo-japan-heritage.jp/>

各賞	最優秀賞 1点	優秀賞 3点	入選 10点
	賞金 2万円 + 1万円相当の副賞	賞金 1万円 + 5千円相当の副賞	賞金 5千円 + 3千円相当の副賞



出雲市内で撮影された「日が沈む聖地出雲」を
イメージさせる春夏の夕景
 どなたでも応募できます。(プロ・アマを問いません。)

*応募作品はInstagram「日が沈む聖地出雲」公式アカウントで随時公開します。
 「いいね!」の数は賞に関係しません。
 Instagram「日が沈む聖地出雲」オフィシャルアカウント
 @japan_heritage_izumo

受付期間 2018/ **7/10(火)~10/1(月)**
 当日消印有効。受付先へ持参の場合は当日必着

撮影期間 **3~9月(春~夏)**
 (平成28年以降に撮影した未発表の過去作品も可)

主催 / 出雲市日本遺産推進協議会(事務局:出雲市文化財課) 日本遺産魅力発信推進事業

応募受付先

「日が沈む聖地出雲」フォトコンテスト係

〒693-0056 島根県出雲市江田町205-2 (武永印刷株式会社内 担当:山岡)
 TEL.0853-21-1810 (月~金 9:00~17:00) ※土・日・祝日、夏季休業8/13~16除く

第1回「日が沈む聖地出雲フォトコンテスト(秋~冬)」入賞作品展開催中! ~8/31(金) JR出雲市駅隣アトネスいずもにて

農業用廃棄ビニール・プラスチック類の収集についてのお知らせ

下記の収集処分計画表の通り、農業用廃棄ビニール・プラスチック類の収集を行います。持ち込みを希望される方は、「**委任状**」・「**産業廃棄物運搬車表示**」が必要となりますので、最寄りの各営農センターまで取りに行ってくださいようよろしくお願い致します。尚、「**産業廃棄物運搬車表示**」は紙に手書きしたものでもかまいませんが、マグネットシートの表示板をグリーンセンターにおいて2枚1組1,296円(税込)で販売しておりますので、ご購入ください。

1. 収集処分計画表

地区名	収集場所	収集日	収集時間
桧山・久多美・灘分・平田	平田カントリー	7月25日(水)	午前9時～11時
伊野・平田東・西田・国富			午後1時～3時
神西・神戸川・湖陵・多伎	西部カントリー	7月31日(火)	午前9時～11時
高松・荒茅・園・大社・遙堪・荒木	西部カントリー	8月1日(水)	午前9時～11時
乙立・朝山・稗原・佐田 上津・大津・塩冶・今市 四絡・高浜・川跡・鳶巣	西部カントリー	8月3日(金)	午前9時～11時

2. 集荷対象 被覆資材(ビニール・農ポリ)・ハウス資材(マイカー線・パッカー・寒冷沙・タイベック)・灌水チューブ・肥料袋・ビニールマルチ・育苗箱・波板

持込不可の物

※農業の容器や空袋、紙(ダンボール箱等)
※トンネル支柱・イボ竹等鉄にビニールコーティングしてある物
※塩ビパイプ管 ※金属類

3. 処理料金・代金決済 料 金：kg当たり **税込み 52円**

代金決済：営農口座より **平成30年9月25日引き落とし**

4. 処理代金の値上げについて

これまで収集した廃棄プラスチック類は中国へ持って行き最終処理を行っておりましたが今年度より国内処理をしなければならなくなった為、値上げとなります。

※ご不明な点がございましたら生産資材課・各営農センターへご連絡ください。

生産資材課 ☎21-6047 中部営農センター ☎31-9055 西部営農センター ☎53-2168
河南営農センター ☎43-7007 南部営農センター ☎84-0213 東部営農センター ☎62-9059

健康ライフかわら版

「フレイル」を予防して健康長寿!

「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか?フレイルは「虚弱」を意味する英語「frailty」から来ており、年齢とともに、筋力や精神力など心と体の活力が低下した状態をいいます。高齢者が増えている現代社会において、フレイルに早く気づき、正しく介入(治療や予防)することが大切です。働き盛り世代の皆さんも、自分のことと思って、若いころから健康な体づくりを心がけましょう!

★早期からのフレイル予防

●栄養(食生活)、口腔ケアで低栄養を予防しよう!

- ・主菜(魚、肉、卵、大豆などのおかず)をしっかり食べよう
- ・主食、主菜、副菜をそろえよう
- ・毎食後の歯みがき、定期的な歯科受診をしよう
- ・口腔体操で口を動かそう

●積極的にからだを動かして筋力を維持・向上しよう!

- ・足腰の筋力維持にはウォーキングと足の曲げ伸ばしなど筋力トレーニングの両方を
- ・自分にあったペースで運動を続けよう

●社会参加、外出であたまとからだを活性化!

- ・買い物、散歩などの外出
- ・地域の人との付き合い、趣味の活動、ボランティア



お問い合わせ先 出雲保健所健康増進課 ☎21-8785

ハーバリウム制作講習会

8月18日(土)開催!

- 平田会場 / 10:00～
JA平田中央支店会議室
- 出雲会場 / 14:00～
出雲地区本部2階201会議室
各会場定員は30名です。
定員になり次第募集は終了させていただきます。
- 内 容 / ハーバリウム100ml瓶を制作していただきます。
所要時間は約1時間です。
- 参加費 / 2,500円(材料費込)
- 講師 / 平田園芸場 勝部和志氏



今話題のハーバリウムの制作を体験してみませんか?

ハーバリウムとは

「植物標本」を意味する言葉です。

専用のオイルにドライフラワーやプリザーブドフラワーを浸したもので、長期間鑑賞できます。贈り物やインテリアとしても人気があります。各グリーンセンターでも取扱っておりますので、ぜひご来店くださいませ!



- 各グリーンセンターへ電話でお申し込みください

グリーンセンター出雲 ☎21-6048

グリーンセンター南 ☎25-0650

グリーンセンター平田 ☎63-3662

グリーンセンター大社 ☎53-3939

平成31年度 介護・看護・作業療法士職員採用募集

JAいずも福祉会(みどりの郷4施設)では、平成31年度4月採用職員の募集を行います。詳しくはJAいずも福祉会事務局(☎0853-31-4080)までお問い合わせ下さい。



- 採用予定人数 / 介護職員、看護職員、作業療法士各若干名
- 応募資格 / 協同の精神のもとに、福祉活動を通じて、生きがいのある安心して暮らせる地域づくりのために活躍しようとする人で、次に該当する方。
 - ① 大学を卒業または卒業見込の方。
短大、専修学校、高校を卒業または卒業見込の方。
 - ② 介護職員は、資格・経験は不問。
看護職員は、看護師、准看護師資格いずれかの資格を取得見込又は資格を有する方。
作業療法士は、作業療法士の資格を取得見込又は資格を有する方。
- 提出書類 / 自筆履歴書(写真貼付)、卒業見込証明書 ※応募書類は返却いたしません。
- 書類締切日 / 平成30年8月31日(金)
- 書類提出先 / JAいずも福祉会 本部事務局 〒693-8585 出雲市今市町106番地1
- 選考方法 / ① 筆記試験：小論文
② 面接試験：書類選考および面接試験
- 試験期日 / ① 筆記試験：平成30年9月15日(土)の予定
② 面接試験：別途通知または当日実施

尚、4月採用職員以外にも随時採用募集を行っておりますので、お問い合わせください。



タマネギ

のまきどきと 上手な苗作り

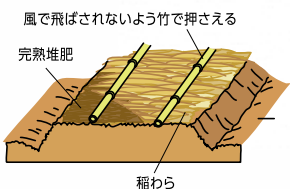
板木技術士事務所 ● 板木利隆

タマネギはあまり早くまき過ぎると冬に入る前に大きく育ち過ぎ、低温に感応してとう立ちする 경우가多く、失敗しがちです。適正なまきどきは早生種9月上旬、中生種9月15日前後、晩生種9月20日ごろです。

タマネギは土壌の酸性に弱い(最適pHは6.3~7.8)ので、苗床の予定地は早めに石灰を施し、20cmぐらいの深さによく耕しておきます。

苗床は幅80~100cm、高さ15~20cm(低温地では幅を狭く、高さを高くする)とし、あらかじめ化成肥料を全面にまき、深さ15cmぐらいに耕し込んでおきます。

種まきは床面をきれいにならして、3.3平方メートル当たり40ml内外の種を均一にばらまきます。その上に草木灰を種が見えなくなる程度に掛け、さらにそれが見えなくなる程度にふるいで土を均一に掛け、板切れなどで軽く押し付け、鎮圧します。その後細かく砕いた完熟堆肥、またはもみ殻で土が見えなくなるぐらいに覆います。そしてたっぷり灌水(かんすい)し、稲わらで全面を覆い、強い降雨や、強日光による乾燥を防ぎます。



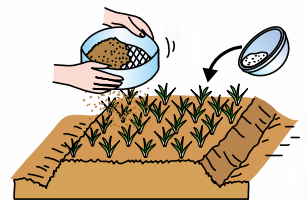
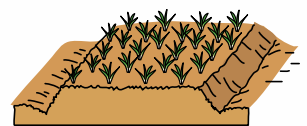
ろった発芽を促します。

草丈が3~4cmに伸びた頃、密に生えたら間引き、1.5cmぐらいの間隔にします。間引きの後、少量の化成肥料を追肥し、ふるいで土を掛けて土入れします。

苗が7~8cmの丈になった頃、前と同様に第2回の追肥をします。

この頃は秋雨が降り続くことが多く、葉の一部がぼんやりと黄化するべと病が発生しやすいです。この苗床で発生を許すと春先になって本畑で多発しやすいので、早いうちに適応薬剤を、展着剤を加えて散布し、完全に防除しておきます。

11月上~中旬になり苗の大きさが草丈20cm内外、太さが5~6mmぐらいになったら畑に定植します。苗取りは、床が乾いていたら十分灌水し、根をできるだけ切らないよう、大きい株からできるだけそろえて引き抜きます。こうすれば本畑での早い活着は請け合いです。



ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査

ハチ
駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先
最寄りのJA各支店・支所
にお問い合わせください

取扱業者 (公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)
Kodama 株式会社 コダマサイエンス
■本社 / 島根県松江市西塚島2-8-23 ☎0852-43-0852
■松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■江津営業所 / ☎0855-52-6852
■益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■隠岐営業所 / ☎08512-2-2471

JA共済から **新登場!!**
新しい保障に関するお知らせです!!

もしものアクシデントで
働けなくなったらどうしよう…。

働けなくなったときの生活に不安があるアナタ!!
JA共済から働けなくなった方のための保障が新たに登場しました!!



JA共済の資料請求はこちら!

あなたにぴったりの共済をみつけよう!!
お気軽にご利用ください。

こちらからアクセス▼

はじめて共済 検索
<http://shiryo.ja-kyosai.or.jp>



組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法（法第35条の5）および農協法施行規則（第81条）に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を受付けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて右記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

島根県農業協同組合 監事会

連絡先：住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地 1
Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp
部 署 名 監査部
受 付 監 事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受付けていますのでご利用ください。

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

ふるさとのなつかしい
島根の味を届けます。

ラピタのお中元

セール期間
8/16(木)まで

発送期間 7月下旬より8月6日まで

受付番号 01
島根県産
シャインマスカット
クール便
本箱価格 **2,800円**
(税込価格3,024円)
●1房入1箱(700g見当)



発送期間 7月下旬より8月6日まで

受付番号 02
島根県産
シャインマスカット
クール便
本箱価格 **5,500円**
(税込価格5,940円)
●2房入1箱(1kg見当)



発送期間 7月下旬より8月6日まで

受付番号 03
島根県産
シャインマスカット
縁の恵
クール便 本箱価格 **7,500円**
(税込価格8,100円)
●1房入1箱



発送期間 7月下旬より8月6日まで

受付番号 04
島根県産
シャインマスカット
クール便
本箱価格 **6,000円**
(税込価格6,480円)
●2kg見当1箱



発送期間 7月中旬より8月6日まで

受付番号 05
山梨県産
もも
クール便
本箱価格 **5,000円**
(税込価格5,400円)
●糖度13度以上・2kg見当1箱



発送期間 7月上旬より8月6日まで

受付番号 06
佐賀県産
ハウスミカン
クール便
本箱価格 **2,000円**
(税込価格2,160円)
●1kg見当1箱



発送期間 8月1日より8月6日まで

受付番号 07
島根県産
ピオーネ
クール便
本箱価格 **3,000円**
(税込価格3,240円)
●2房入1箱



発送期間 8月1日より8月6日まで

受付番号 08
島根県産
太陽プラム
クール便
本箱価格 **3,000円**
(税込価格3,240円)
●8玉入1箱



発送期間 7月下旬より8月6日まで

受付番号 09
島根県産
アールスメロン1玉・
シャインマスカット1房
詰め合わせ
クール便 本箱価格 **5,000円**
(税込価格5,400円)
●各1個入



発送期間 7月下旬より8月6日まで

受付番号 10
島根県産
アールスメロン2玉・
シャインマスカット1房
詰め合わせ
クール便 本箱価格 **7,500円**
(税込価格8,100円)



発送期間 7月下旬より8月6日まで

受付番号 11
島根県産
シャインマスカット2房・
ピオーネ1房 詰め合わせ
クール便 本箱価格 **5,000円**
(税込価格5,400円)



発送期間 7月下旬より8月6日まで

受付番号 12
山梨県産もも5玉・
島根県産
シャインマスカット1房
詰め合わせ
クール便 本箱価格 **5,500円**
(税込価格5,940円)



島根和牛



受付番号 13
新日本食品
しまね和牛
肩ロースすき焼
クール便 本箱価格 **5,000円**
(税込価格5,400円)
●500g

受付番号 14
新日本食品
しまね和牛
肩ロース焼肉用
クール便 本箱価格 **5,000円**
(税込価格5,400円)
●500g

神西湖しじみ



受付番号 15
神西湖産
大和しじみ (冷凍)
送料込 本箱価格 **4,900円**
(税込価格5,292円)
●1.5kg

※冷凍でのお届けになります。

出雲ハム



受付番号 16
新日本食品
ハムギフト1-02
クール便 本箱価格 **3,000円**
(税込価格3,240円)
●荒びきウインナー350g、ベーコン120g、ネオブロック250g×2本

7月20日(金)~22日(日)
スペシャルデー
全国送料
無料

ゆうパック特別送料 (8月16日(木)まで承り分) (税込)					
県内(離島含む)	150円	四国	600円	東北	800円
中国	500円	中部・北陸	750円	北海道	1,350円
九州・関西	500円	関東・信越	750円	沖縄	1,000円

ラピタ各店お問い合わせ先

- (本店)キトコーナー TEL.0853-21-6062
 (佐田店) TEL.0853-84-0262
 (はまや店) TEL.0853-30-7770
 (みなみ店) TEL.0853-22-3733
 (ひらた店) TEL.0853-63-7300
 (多伎店) TEL.0853-86-2444
 (湖陵店) TEL.0853-43-3535
 (大社店) TEL.0853-53-2800

※お中元特別運賃は2,500円(税込)以上のギフト商品をお買上げいただいた方が対象です。 ※一部除外品もございます。
 ※クール便:別途クール代金が必要になります。 ※こちらの運賃は日本郵便のご利用に限らせていただきます。
 ※一部商品は、メーカー送料がかかる場合がございます。

ラピタ短期 アルバイト募集!!

まずはお気軽にお電話ください。
皆様のご応募お待ちしております。

募集内容

- 場所 / ラピタ各店
- 仕事内容 / 各部門での商品加工・品出し・レジ業務など
- 期間 / 8月上旬から下旬までの5~20日間程度 (各部門・業務により異なります)

- 時給 / 一般・大学生他.....750円
高校生.....740円
- 応募方法 / 各店サービスカウンターへご応募またはお電話にて



(0853)21-6060 採用担当まで



赤梨

お届け 期間	8月下旬頃～ 9月下旬頃	承り 期間	ご注文日	8月19日(日) ごろまで	8月20日(月)～ 初出荷まで	9月1日(土) 以降
			お届け 目安	初出荷より 随時発送	9月5日(水) ごろの発送	9月10日(月) 前後の発送

7月末までは
全国発送承ります

全国一律送料 **無料**

8月1日(水)～ 送料
1箱 **300円** (税込)

※ラピタにてご注文された梨(産物用)に限らせていただきます。
※お届けの期日は指定できませんのでご了承ください。※クロネコヤマトでの発送となります。

承り順に発送して参りますが、産地での梨の生育状況、サイズ、重量により発送が前後する場合があります。(期日指定は出来ませんのでご了承ください。)

お申し込みはラピタ本店・各店で

サマープラン
Summer Plan
期間:2018年7月1日(日)～8月31日(金)

◆**バイキングコース**
(30名様から承ります)
飲み放題付!
お1人様 **5,500円**

◆**オードブルコース**
(10名様から承ります)
飲み放題付!
お1人様 **6,000円**

★乾杯用ドリンクサービス(ワイン又は日本酒)
★会場費・税・サービス料込み
★飲み放題/乾杯より2時間

★飲み放題メニュー
・ビール・ノンアルコールビール・日本酒(熱燗)・焼酎
・ソフトドリンク(ジュース・ウーロン茶)

さらに選べる特典! お好きな特典をいずれか1つ
お選びいただけます。

① **セルフコーヒーサービス!**
無くなり次第、終了となります。

② **飲み放題グレードアップ!!**
(上記飲み放題コースにプラス...)
カクテル・ノンアルコール・ワイン・梅酒をプラス!

③ **飲み放題90分で、
各コース500円引き!!!**
乾杯から90分(1時間半)の時間
制限つきで、各コースおひとり500円引き
(注)制限時間過ぎますと、通常価格となりますので
ご注意ください。

「選べる特典」は、ご利用日の5日前までにお選びください。
・お選び頂いた「特典」の変更はできません。また「特典」の併用はできません。
・宴会終了時間は21時までとさせていただきます。それ以降のご利用の場合は別途延長料金5,400円(税込・サ別)を申し受けます。
・人数変更はご利用日の前日の午前中までとさせていただきます。それ以降のキャンセルにつきましては、おひとり当たり4,000円
を申し受けます。(特典③を選ばれている方も同様です。)
・上記プランには、消費税・サービス料・会場費が含まれています。プラン以外のご利用分については、別途サービス料がかかります。

お問合せ
ご予約 **ラピタウエディングパレス**
TEL (0853) 21-6063

大ロケ
仮面ライダービルド ショー

©2017 石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映

予告
7月29日(日) **入場無料**

■開催時間 / 11:00～ 14:00～(2回公演)
■開催場所 / 本店1階センターコート

鮎ごはん



焼き鮎、みょうが、青しそ、ごまの組み合わせでさわやかな炊込みご飯です。鮎の香りが口の中に広がります。

●材料 (4人分)

鮎……………2尾	みょうが……………2個
塩……………小さじ1/2	甘酢
干しいたけ……………3枚	酢……………大さじ2
生姜……………1かけ	砂糖……………小さじ1/2
米……………2カップ	塩……………小さじ1/5
水……………	白ごま……………小さじ1
しいたけの汁……………60cc	青しそ……………5枚
酒……………大さじ2	
しょうゆ……………大さじ1と1/2	

●作り方

- ①みょうがは縦半分に切り、さっと湯に通し甘酢につける。
- ②しいたけは水で戻す。
- ③鮎は肛門から糞を出し水洗いして水を拭き塩をふり焼く。
- ④米は洗い、しいたけの戻し汁を入れ30分置く。
- ⑤しいたけ、生姜は千切りにする。
- ⑥炊飯器に米、酒、しょうゆ、しいたけの戻し汁を入れ炊飯器の水メモリ2の所まで水を入れ、しいたけ、生姜、鮎を入れ炊く。
- ⑦炊けたら鮎ごとざっくりと混ぜ、茶碗に盛り青しそとみょうがの千切りを乗せごまをふる。

(苦いのが苦手な人は混ぜる時、鮎の頭は捨ててください。)

あっさりゴーヤチャンプル



肉、卵を入れない夏に合うあっさり味です。市販のゴーヤチャンプルの素がなくても、かつお節としょうゆのみで簡単味付けです。かつお節を沢山入れるのがポイントです。

●材料 (4人分)

ゴーヤ……………1本	ごま油……………大さじ1
ツナ缶……………1/2缶	しょうゆ……………小さじ1弱
木綿豆腐……………1/3丁	かつお節……………20g
にら……………1/2束	(手づかみ2はい)
もやし……………1/2袋	

●作り方

- ①ゴーヤを縦半分に切って種とワタをとり、1cmに切り塩もみし、水洗いする。
- ②にらは5cmに切る。
- ③豆腐はザルの上ののせ20分おく。
- ④フライパンにごま油を入れゴーヤ、にら、もやし、ツナ缶の順に炒める。次に豆腐を加えずしながら炒める。
- ⑤しょうゆを入れる。
- ⑥かつお節を入れ混ぜすぐ火を消す。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなのおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、大社町稲佐の浜にある弁天島です。出雲大社の西方1kmにあり、「日本の渚・100選」にも選ばれているこの海岸は、旧暦10月に行われる神迎神事(かみむかえしんじ)の舞台でもあります。弁天島には、豊玉毘古命(とよたまひこのみこと)が祀られています。稲佐の浜は西向きのため、夕暮れ時には美しい夕日を眺めることができます。

編集後記

稲佐の浜は、子どもの頃よく海水浴に訪れていた思い出の場所です。当時の記憶では弁天島は海に浮かんでいたのですが、砂の堆積などにより、今では島の後ろまで歩いていけるようです。月日の経過とともに風景は刻々と変化しています。今しか見ることができない景色を、できるだけたくさん見ておきたいですね。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

